

3. 財務の状況

(1) 決算の概要（次頁以下御参照）

① 消費収支の状況

当年度消費支出超過額（赤字）は116百万円となり、予算対比201百万円上方乖離しました。平成27年度より導入された新会計基準を適用すると、教育活動収支▲211百万円、教育活動外収支98百万円、特別収支17百万円、基本金組入額▲21百万円という内訳となります。

【平成26年度消費収支計算書】

消費収入の部		(単位:百万円)		
科 目	予算(A)	決算(B)	差異	
学生生徒等納付金	7,111	7,178	67	①
手数料	116	134	18	②
寄付金	71	80	9	③
補助金	604	696	92	④
資産運用収入	82	98	16	
資産売却差額	6	25	19	
事業収入	421	415	▲6	⑤
雑収入	163	428	265	
帰属収入合計(ア)	8,574	9,054	480	
基本金組入額合計	▲59	▲21	38	
消費収入の部合計(イ)	8,515	9,033	518	
学校事業収入(ウ)	8,323	8,503	180	①+②+③+ ④+⑤

消費支出の部

科 目	予算(A)	決算(B)	差異
人件費	4,642	4,697	55 ⑥
教育研究経費	3,138	3,697	559 ⑦
うち減価償却額	1,015	1,092	77
管理経費	1,050	720	▲ 330 ⑧
うち減価償却額	99	47	▲ 52
資産処分差額	2	8	6
徴収不能額	0	28	28
予 備 費	0	0	0
消費支出の部合計(エ)	8,832	9,150	318
当年度消費支出超過額(エ) - (イ)	317	117	▲ 200
前年度繰越消費支出超過額	▲ 16,942	▲ 16,815	127
基本金取崩額	0	198	198
翌年度繰越消費支出超過額	▲ 17,259	▲ 16,733	526

学校事業支出(オ)	8,830	9,114	284 ⑥+⑦+⑧
-----------	-------	-------	-----------

帰属収支差額(ア) - (エ)	▲ 258	▲ 96	162
-----------------	-------	------	-----

学校事業収支差額(ウ) - (オ)	▲ 507	▲ 611	▲ 104
-------------------	-------	-------	-------

消費収支計算書は、企業会計でいえば、損益計算書に相当しますが、損益計算書は企業のその期の利益を示す計算書であるのに対し、消費収支計算書は、学校法人の教育・研究活動の健全性や永続性を示す計算書であるといえます。

『帰属収入』は、学生生徒からの納付金や、補助金など、本来的に学校法人に帰属する収入のことで、借入金のように返済を要する「収入」は含まれません。

『基本金』とは学校を設立する際に、寄附者から受け入れた寄附金を基とし、その後学校の事業活動によって留保した収入を組み入れることで、学校の財産基盤を裏付けているものです。学校法人がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために、帰属収入から組み入れられます。

② 消費収支の経年変化

学生生徒納付金は拡大基調にあります。「スポーツの東京国際大学」「英語力の東京国際大学」を柱とした大学教育コンテンツ強化により、堅調な学生数確保を実現しています。他方で、教育コンテンツ強化に伴い、経費が増加傾向に転じており、経費管理の厳格化に努めてまいります。

【消費収支経年推移】

消費収入の部 (単位:百万円)

科目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
学生生徒等納付金	6,922	7,011	6,956	7,028	7,178
手数料	118	115	135	143	134
寄付金	52	102	120	102	80
補助金	656	540	659	636	696
資産運用収入	508	341	167	150	98
資産売却差額	523	307	365	2,101	25
事業収入	270	253	446	450	415
雑収入	598	414	616	290	428
帰属収入合計	9,646	9,082	9,465	10,900	9,054
基本金組入額合計	▲ 200	0	▲ 14	▲ 3	▲ 21
消費収入の部合計	9,447	9,082	9,452	10,896	9,033

消費支出の部

科目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
人件費	5,279	4,796	5,100	4,694	4,697
教育研究経費	3,239	3,046	2,939	3,232	3,697
管理経費	1,582	1,498	1,457	1,778	720
資産処分差額	545	546	398	517	8
徴収不能額	0	35	28	36	28
消費支出の部合計	10,645	9,921	9,922	10,257	9,150

帰属収支差額	▲ 999	▲ 839	▲ 457	643	▲ 96
--------	-------	-------	-------	-----	------

当年度消費支出超過額	▲ 1,198	▲ 839	▲ 470		▲ 117
当年度消費収入超過額				638	
前年度繰越消費支出超過額	▲ 18,323	▲ 19,521	▲ 17,151	▲ 17,580	▲ 16,815
基本金 取崩額	1	3,209	42	127	198
翌年度繰越消費支出超過額	▲ 19,521	▲ 17,151	▲ 17,580	▲ 16,815	▲ 16,733

③ 貸借対照表の状況

貸借対照表は、前年に比し 484 百万円拡大しました。固定資産は ▲834 百万円減少しましたが、流動資産は 1,318 百万円増加しました。

【貸借対照表経年推移】

資産の部 (単位:百万円)

科目	平成23年 3月末	平成24年 3月末	平成25年 3月末	平成26年 3月末	平成27年 3月末
固定資産	53,311	51,075	50,282	49,916	49,081
流動資産	5,004	6,484	6,792	7,704	9,022
資産の部合計	58,315	57,559	57,074	57,620	58,103

負債の部

科目	平成23年 3月末	平成24年 3月末	平成25年 3月末	平成26年 3月末	平成27年 3月末
固定負債	2,725	2,641	2,597	2,546	2,925
流動負債	2,938	3,104	3,120	3,075	3,275
負債の部合計	5,663	5,746	5,717	5,621	6,200

基本金の部

科目	平成23年 3月末	平成24年 3月末	平成25年 3月末	平成26年 3月末	平成27年 3月末
第1号基本金	54,478	52,457	53,169	53,821	54,072
第2号基本金	3,994	2,806	2,066	1,290	862
第3号基本金	12,402	12,402	12,402	12,402	12,402
第4号基本金	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
基本金の部合計	72,174	68,965	68,937	68,813	68,636

消費収支差額の部

科目	平成23年 3月末	平成24年 3月末	平成25年 3月末	平成26年 3月末	平成27年 3月末
翌年度繰越消費支出超過額	19,521	17,151	17,580	16,815	16,733
消費収支差額の部合計	▲ 19521	▲ 17151	▲ 17580	▲ 16815	▲ 16733

負債の部・基本金の部 及び消費収支差額の部

科目	平成23年 3月末	平成24年 3月末	平成25年 3月末	平成26年 3月末	平成27年 3月末
負債の部・基本金の部 及び消費収支差額の部合計	58,315	57,559	57,074	57,620	58,103

(2) 金融資産の概要

① 消費収支の状況

平成 27 年 3 月末現在、有価証券簿価合計額 4,208 百万円に対し、時価合計額は 5,442 百万円でした。平成 26 年 3 月末時点では 7,199 百万円の国庫短期証券を保有していましたが、マイナス金利となったため、流動性預金に切り替えて保有しています。

② デリバティブズ取引

平成 27 年 3 月末現在、該当ありません。

主な財務比率比較

(単位:%)

比率名	算式	評価基準	24年度	25年度	26年度	他大学平均
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	△	-4.8	5.9	-1.0	5.2
消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	▼	105.0	94.1	101.3	107.8
学生生徒納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{帰属収入}}$	～	73.5	64.5	79.3	72.4
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	▼	53.9	43.1	51.9	52.4
教育研究費比率	$\frac{\text{教育研究費}}{\text{帰属収入}}$	△	31.0	29.7	40.8	31.5
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	▼	15.4	16.3	8.0	8.8
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	△	217.7	250.5	275.5	245.9
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	▼	11.1	10.8	11.9	14.4

(注1)総資金 = 負債 + 基本金 + 消費収支差額

(注2)自己資金 = 基本金 + 消費収支差額

(注3)他大学平均:医歯系法人を除く大学法人平均(H25年度)「今日の私学財政」(日本私立学校学振興・共済事業団)より

(注4)評価基準: △高い値が良い ▼低い値が良い ～どちらともいえない

【財務比率の説明】

比率名	比率の意味
帰属収支差額比率	帰属収支差額の帰属収入に対する割合。企業会計の売上高利益率に相当。
消費収支比率	消費支出の消費収入に対する割合。100%超は赤字。100%未満は黒字。
学生生徒納付金比率	学生生徒等納付金は帰属収入のなかで最大の比重。安定的な推移が望ましい。
人件費比率	人件費の帰属収入に対する割合を示す比率。消費支出のなかで最大の部分を占めるため、比率が高くなると消費収支悪化を招きやすい。
教育研究費比率	教育研究経費の帰属収入に対する割合。教育研究活動の維持・発展には不可欠な経費で収支均衡範囲内で高くなることは望ましい。
管理経費比率	学校運営に必要な管理経費の帰属収入に対する割合。低いほうが望ましい。
流動比率	短期的な支払い能力を判断する指標。
負債比率	他人資金(負債)と自己資金(基本金+消費収支差額)との関係比率。100%以下で低いほうが望ましい。※本学は創学以来、無借金経営を継続している。